

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
 平成 29 年度第 2 回調査・研究部全体会議 通算第 2 回調査・研究部会
 議事録

| 日時 | 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 10:00~13:00 | | 場所 | 地盤工学会会議室 | |
|-------------|----------------------------------|---|------|------------------|---|
| 部長 | 西村 伸一 (岡山大学) | ○ | ★理事 | 中野 正樹 (名古屋大学) | ○ |
| 副会長 | 古関 潤一 (東京大学) | ○ | ★理事 | 山中 稔 (香川大学) | ○ |
| 幹事長 | 松下 英次 (長野高専) | ○ | 副幹事長 | 大竹 雄 (新潟大学) | ○ |
| 研究・連携・情報委員会 | | | 幹事 | 三上 武子 (前田建設工業) | ○ |
| ワ幹事 | 荒木 功平 (山梨大学) | ○ | 部員 | 鈴木 亮彦 (不動テトラ) | ○ |
| ★部員 | 鈴木 健介 (鹿島建設) | ○ | ★部員 | 高橋 直樹 (三井住友建設) | ○ |
| ワザハ | 後藤 茂 (早稲田大学) | ○ | ワザハ | 中澤 博志 (防災科研) | × |
| 研究発表会委員会 | | | 幹事 | 肥後 陽介 (京都大学) | ○ |
| ★ワ幹事 | 高野 大樹 (港空研) | ○ | 部員 | 森河 由紀弘 (名古屋工業大学) | — |
| ワザハ | 伊藤 和也 (東京都市大学) | ○ | | | |

配付資料

| 資料番号 | 資料 |
|------------|--|
| 資料-29-2.0 | 平成 29 年度 第 1 回 調査・研究部会議事録 (案) (H29/6/16 開催) |
| 資料-29-2.1 | 平成 29 年度理事会議事録 (案) (H29/6/16,7/28,9/29 開催) |
| 資料-29-2.2 | 平成 30 年度事業方針・計画(案)、予算(案)作成のお願い |
| 資料-29-2.3 | 第 19 回事業企画賞候補案および審査員の選出依頼 (昨年度の資料) |
| 資料-29-2.4 | 平成 29 年度学会賞候補推薦のお願い |
| 資料-29-2.5 | 平成 29 年度収支管理用月次計算書 (平成 29 年 7 月 31 日まで) |
| 資料-29-2.6 | 東日本大震災調査報告 売上・在庫 |
| 資料-29-2.7 | 平成 29 年度研究委員会競争的研究費の配分結果 |
| 資料-29-2.8 | 平成 30 年度新設研究委員会テーマ案募集 会告 |
| 資料-29-2.9 | 遠隔離島における地下空間利用のための調査研究検討委員会構成 |
| 資料-29-2.10 | 「遠隔離島における地下空間利用のための調査研究」趣意書 |
| 資料-29-2.11 | 「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技术開発と人材育成プログラム (略称: 廃炉地盤工学委員会)」委員会主催講習会 企画書 |
| 資料-29-2.12 | 「廃炉地盤工学委員会」H29 年度上半期予算執行状況報告 |
| 資料-29-2.13 | 岩の力学連合会連合会賞選考委員の推薦依頼 |
| 資料-29-2.14 | 表層地盤の特性抽出と解析手法についてのシンポジウム — 全国電子地盤図の拡張と運用に関する研究委員会 報告会 — 開催案内 |
| 資料-29-2.15 | 第 12 回環境地盤工学シンポジウム 開催報告 |
| 資料-29-2.16 | 第 53 回地盤工学研究発表会 DS 等応募状況 |
| 資料-29-2.17 | 第 53 回地盤工学研究発表会 (高松大会) 投稿システムの改変 |
| 資料-29-2.18 | 地盤工学研究発表会開催困難時の対応要領 (案) |
| 資料-29-2.19 | 地盤工学研究発表会の支部還付金検討資料 |
| 資料-29-2.20 | 第 54 回地盤工学研究発表会 開催計画 |
| 資料-29-2.21 | 第 52 回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞授賞候補者リスト |
| 資料-29-2.22 | 第 53 回地盤工学研究発表会論文募集・技術展示募集 会告 |

I. 前回 (H29/6/16 開催) 調査・研究部会会議事録の確認

(資料-29-2.0, pp.1-5)

II. 理事会 (H29/6/16,7/28,9/29) 開催報告

(資料-29-2.1, pp.6-23)

・理事会における報告内容が確認された。

III. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 平成 30 年度予算および事業計画案

(資料-29-2.2, pp.24-31)

・平成 30 年度の事業計画案が提示された。

・今年度終了の委員会が2件あるため、地盤工学シンポジウムの運営を打診(依頼)する。

・「(3)②電子図書室の利用増大に向けて広報につとめる。」

⇒ 「(3)②電子図書室の利用増大に向けてコンテンツの充実を図る」へ文章を変更する。

・事業計画案については、各自確認を行い、必要に応じてメール審議にすることとなった。

・地盤工学シンポジウムの運営に関する主な議論は下記の通り。

ー事業スリム化のため東畑会長時にシンポジウムは中止されたが、その後、委員会の報告会を兼ねる形で環境地盤シンポジウムと交互で隔年開催する方針となった。

ーシンポジウムの運営も委員会に依頼することになっているが、近年、その依頼が徹底されていない。

ー環境地盤シンポジウムは、地盤環境企画委員会(大嶺委員長)が長年運営をしている。

ー中長期ビジョン委員会における議論と連携して、シンポジウムの位置づけを明確にしていくのはどうか。

ー委員会報告は全国大会の DS でも実施される場合があるので、報告会のルールを議論する必要がある。

・平成 30 年度の前案が提示され、下記の議論が行われた。

ー高松大会と名古屋大会の違いは、技術展示の数(80⇒40)であり、これが収益の違いの主な理由である。

ー会場のスペースの関係上、これ以上の技術展示を計画するのは困難である。また、前回の四国支部の研究発表会(愛媛大会)では、技術展示の数は28であり、多くの展示は見込めない。

ー収支の改善を図る努力をした上で、大会の会費の値上げについても議論する必要があるのではないかと。

→技術展示のスペースがないということだが、人通りが多い場所にポスターを掲示する案などは検討しているか。

→屋外のスペースは、重機を展示したい企業などに積極的に提供してはどうか。

→講演概要を CD-ROM からダウンロード化に変更することによる収支の改善を検討したい。

ー収入増を図る企画としては、全国大会以外の活動も議論する必要があるのではないかと。

2. 第 20 回事業企画賞候補案および審査員の選出

(資料-29-2.3, pp.32-37)

・調査研究部からの事業企画賞への応募はしないこととする。

・審査員は大竹が担当する。

3. 東日本大震災合同調査報告書の販売促進

・本件に関する今年度の予算において、320 万円の収入を計上しているが、収支を改善するために、地盤工学会発行の報告書3冊(共通編3 地盤災害、地盤編1 地盤建造物の被害、原因検討、復旧、地盤編 2 被災調査の記録)を安価にセット販売することを検討する。

ー安価にセット販売する方針とするが、丸善に販売の可否を確認すること。

・収支改善に関連した他議論は下記の通り。

ー災害関連のシンポジウムを開催するなどして、販売の機会をつくるのはどうか。

ー北海道の豪雨災害、熊本地震の災害報告会などとの抱き合わせの企画を行うのはどうか。

ー単独の企画を今年度開催するのは難しいので、支部の企画との連携(書籍販売コーナーの設置)も考える必要がある。

[報告事項]

4. 平成 29 年度地盤工学会賞 候補ご推薦のお願い

(資料-29-2.4, pp.38-41)

・10月2日締切、調査・研究部からの推薦なし

5. 調査・研究部 平成 29 年度予算執行状況 (資料-29-2.5, p.42)
6. 調査・研究部 書籍売上・在庫数 (資料-29-2.6, p.43)

IV. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

7. 「社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会」期間延長
・期間延長を了承する。ただし、委員会の予算は、原則配分しない方針とする。

8. 第 12 回環境地盤工学シンポジウム (H29.9.25-26、長崎市) 論文集 CD (または冊子) 販売価格
・ CD 販売価格：4,000 円 (税別、送料別) 会員、非会員とも
・上記の販売価格を了承する。

[報告事項]

9. 情報関係

- 1) 電子図書館のリニューアル

・現在のリニューアル作業の進捗状況が報告された。

10. 研究委員会関係

- 1) 平成 29 年度研究委員会の各委員会予算配分 (メール審議済み) (資料-29-2-7, p.44)
2) 平成 30 年度新設研究委員会テーマ案公募 (学会誌 11・12 月合併号会告掲載) (資料-29-2-8, p.45)
3) 委員会構成案 (メール審議済み)

「遠隔離島における地下空間利用のための調査研究委員会」 (資料-29-2-9, p.46)

- 4) 委員の追加、交代 (メール審議済み)

「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会 (略称：廃炉地盤工学委員会)」

- ・オブザーバ交代

高橋 美昭 オブザーバ (東京電力ホールディングス株式会社) → 末広 俊夫 氏 (同左)

理由：異動による

「エネルギーに基づく液状化予測手法に関する研究委員会」

- ・委員追加

吉野 亜香利 氏 (株式会社構造計画研究所 防災・環境部 地盤・構造室)

「第 53 回地盤工学研究発表会実行委員会」 (非会員のため招請委員)

- ・委員交代

島中 秀人 副委員長 (国土交通省四国地方整備局 企画部長) → 野崎 智文 氏 (同左)

理由：異動による

池 聖 委員 交流部会副部会長 (西日本高速道路 (株) 四国支社 企画調整課長) → 森脇 清 氏 (同左)

理由：異動による

- 5) 「遠隔離島における地下空間利用のための調査研究委員会」 (「遠隔離島における地下空間利用のための調査研究」)

(資料-29-2-10, p.47)

・昨年度に引き続き、今年度も業務を受託することになった。業務の名称が若干変更になった。受託額は、1,000,000 円。

- 6) 「横浜環状北線地盤変動監視委員会」 (「横浜環状北線の地盤変動監視に関する調査研究」)

・H28 年度：当初は、H28 年 12 月 9 日から H29 年 6 月 30 日までの履行期間だったが、追加業務 (首都高内部資料としての、技術資料作成業務) が発生したため、H29 年 10 月末まで、延長されることになった。さらに、会議開催 (2 回) および技術資料作成業務の内容を追加することとなり、H30 年 3 月末まで再延長の要請があった。受託額は、当初 9,889,560 円→1 回目変更 12,324,960 円。再延長の受託額は未定。

- 7) 「廃炉地盤工学委員会」

- ・主催講習会 開催計画 (メール審議済み)

(資料-29-2-11, pp.48-50)

- a. 「現場実験から把握する地下水の実流速」に関する講習会

日時：平成 29 年 11 月 27 日 (月) 9:00~17:00 場所：日本大学文理学部 参加費：無料

- b. 「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』～地盤施工学の創設～」に関する講習会

日時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 13：30～17：30 場所：JGS 会館 参加費：無料

- ・ H29 年度上半期予算執行状況報告 (資料-29-2-12, p.51)
- 8) 岩の力学連合会連合会賞選考委員の推薦（メール審議済み） (資料-29-2-13, p.52)
小山 倫史 氏（関西大学） 多田 浩幸 氏（清水建設）
- 1 1. シンポジウム関係
 - 1) 表層地盤の特性抽出と解析手法についてのシンポジウム ―全国電子地盤図の拡張と運用に関する
研究委員会 報告会―（H29.10.18、大阪市）開催計画（メール審議済み） (資料-29-2-14, pp.53-54)
 - 2) 第 12 回環境地盤工学シンポジウム（H29.9.25-26、長崎市）開催報告 (資料-29-2-15, p.55)

V. 研究発表会委員会

[審議事項]

- 1 2. 第 53 回地盤工学研究発表会（高松大会）
 - 1) ディスカッションセッション，特別セッション，市民向けセッションの応募結果 (資料-29-2-16, p.56)
 - ・1コマ5編以上の発表を行うことを条件に，12件(全件)を採択することとする(名古屋大会と概ね同数)。
 - ・理事会において，資源エネルギー庁より，高レベル放射性廃棄物処理の地図に関する情報提供があった。本件に関連して研究発表会において，特別セッションなどの企画も検討している。後藤氏が詳細を小峯先生に聞くこととなった。
 - ・地盤判定士における市民向けセッションについては，実行委員会の判断とするが，開催する方向で検討すること。
 - 2) 投稿システムの改定：座長可否のチェック欄の追加 (資料-29-2-17, pp.57-58)
 - ・座長選定作業の効率化のための追加を行うこととする。
 - ・経費は高松大会の予算の中に入れて処理を行うことになる。
 - 3) 若手座長依頼
 - ・依頼先：大林組、鹿島建設、清水建設、大成建設、前田建設工業、？
 - ・依頼時期：H29 年 11-12 月頃？
 - ・若手座長の依頼は行うこととする。
 - ・上記の 5 社には，推薦依頼文を出せば，座長を務められそうな若手技術者のリストを提示してもらえる事になっている。
 - 4) 展望について
 - ・前回と同様、展望として 1 つのセッションを運営し、講師を招いて講演をいただくスタイルとする。
講師：松島亘志教授（筑波大）、「流状体力学（仮）」※内諾あり
謝礼：謝礼は学会規定に基づいて支給。参加登録はしていただく。
 - ・上記の提案内容を了承する。
 - 5) 展示出展者への特典の統一
 - ・DVD 1 枚（事前送付）、参加証 1 名分、展示のしおりの印刷・配布
これらを基本的な特典とし、各実行委員会で適宜特典を加えても良い。交流会は飲食なので特典に含めない。
 - ・上記の提案内容を了承する。
- 1 3. 地盤工学研究発表会開催困難時の対応要領（案） (資料-29-2-18, p.59)
 - ・(連絡方法)について、「全参加者」→「全登録者と全会員」に文章を修正する。
- 1 4. 地盤工学研究発表会の支部還付金の還付ルールの見直し検討の開始 (資料-29-2-19, pp.60-67)
 - ・継続審議とする。必要に応じてメール審議を行うなど継続的に議論する。

[報告事項]

- 1 5. 第 54 回地盤工学研究発表会（関東大会）開催日程、会場（メール審議済み） (資料-29-2-20, pp.68-72)
- 1 6. 第 52 回地盤工学研究発表会（名古屋大会）
 - 1) 講演集 DVD 販売価格（メール審議済み）
 - ・定価：19,440 円（本体 18,000 円） 会員特価：14,040 円（本体 13,000 円）ともに送料別
 - 2) 優秀論文発表者賞受賞者：137 名（メール審議済み） (資料-29-2-21, pp.73-75)

【その他】

18. 理事会（平成29年10月27日（金））開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項]

19. 総務部会（平成29年10月10日（火）開催予定）への提案事項

20. 次回以降の部会・運営会議開催日

・29年度第3回調査・研究部会 :平成29年 月 日（ ） 時～

★ 平成29年度 理事会 開催日程（予定含む）

① 4月21日（金） ※書面審議

② 5月19日（金）

★ 6月9日（金） 総会/理事会

③ 6月16日（金） ※書面審議

④ 7月28日（金）

⑤ 9月29日（金）

⑥ 10月27日（金） ※書面審議

⑦ 11月24日（金）

⑧ 12月22日（金） ※書面審議

⑨ 1月26日（金）

⑩ 2月23日（金） ※書面審議

⑪ 3月16日（金）

⑫ 4月20日（金） ※書面審議

⑬ 5月18日（金）

★ 6月6日（水） 総会/理事会